

事務事業評価シート

(H.30)No.	6092	(H.29)No.	6092
-----------	------	-----------	------

事務事業名	非常備消防費		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防総務室	宮阪 昇	

会計区分	事業コード	451001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	非常備消防費	
項 消防費	(小事業名)	
目 非常備消防費	非常備消防費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施 策	3	消防・救急
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域防災の中心的な役割を担う消防団の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
事業内容
・適切な消防団運営を行い、火災、風水害、地震等の災害に対応します。加えて、火災予防や応急手当の普及啓発など地域の安心、安全を確保するための活動を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	非常備消防費 53,170千円 ・消防団の運営費 ・消防団車両の維持、管理	非常備消防費 64,507千円 ・消防団の運営費 ・消防団車両の維持、管理 ・三重県消防操法大会出場	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			非常備消防費 60,734千円 ・消防団の運営費 ・消防団車両の維持、管理	非常備消防費 64,507千円 ・消防団の運営費 ・消防団車両の維持、管理 ・三重県消防操法大会出場	非常備消防費 60,734千円 ・消防団の運営費 ・消防団車両の維持、管理

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		53,170千円		64,507千円	60,734千円	64,507千円	60,734千円
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		3,911		10,820	10,450	10,820
	一般財源	0	49,259	0	53,687	50,284	53,687
人工数	職員		0.70人		0.70人	0.70人	0.70人
	臨時職員等		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	5,900千円	0千円	5,900千円	5,900千円	5,900千円	5,900千円
①+②総事業費	0千円	59,070千円	0千円	70,407千円	66,634千円	70,407千円	66,634千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> ・火災及び台風等の災害に適切に対応するとともに、各種訓練を実施し団員の育成強化を図りました。また、火災予防や応急手当の普及啓発など地域の安心、安全を確保するための活動を行いました。 ・団員不足が深刻な状況にあることから、地域づくり代表者会議において、団員確保の協力を依頼しました。 ・今後、更に地域との連携強化に向けた取組を推進する必要があります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
消防団員の確保に向けた取組を継続的に実施するとともに、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、地域防災組織との連携強化と消防団員の処遇改善に取り組む必要があります。

6. 事務事業の取組に関する市の計画